

◆御礼のことば◆

本日私たちは、五百余名の仲間とともに、成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。また、これまで私たちが温かく見守っていただきました家族や地域の皆様に深く感謝いたしております。

私たちは、生まれ育ったこの白石に対し何ができるのか、成人としての自覚を忘れないために、今しかできないことは何だろうかと考えてまいりました。

そこで、今年度は、新成人から協力を募り、市のシンボルとして名高い白石城のある益岡公園に、記念植樹を行うことといたしました。

この植樹は、益岡公園の緑化に寄与するとともに、私たち新成人にとって、大切な思い出となるでしょう。植樹された木は、これから先、私たちが益岡公園を訪れるたびに、今日のこの日を、そして新成人として歩み始めたばかりのこの気持ちを、思い出させてくれることでしょう。

私たちは、今日の成人式を機に、社会の一員として、広い視野を持ち続け、流行に左右されることなく物事を深く考え、常に自分の行動に責任を持ちながら歩むことをここに誓い、御礼のことばといたします。

※今回新成人から集められた協力で購入した樹木の苗木の植樹を3月に益岡公園で行います。



- 当時の主な出来事
- 昭和60年
 - 〔3月16日～9月16日〕「人間・居住・環境と科学技術」をテーマに「科学万博つくば85」開幕。会期184日間。入場2,033万人。
 - 〔4月1日〕日本電信電話会社（NTT）、日本たばこ産業株式会社、民間企業として発足。
 - 〔4月29日〕全日本柔道選手権、山下泰裕六段が9連覇、連勝記録203。6月17日の引退表明に有終の美。
 - 〔6月〕豊田商事事件、投資ジャーナル事件など、社会的弱者や人心の弱みに付け込む悪徳商法が横行。
 - 〔6月28日〕日本人の平均寿命、男性七十四・五四歳、女性八十・一八歳に。平均寿命の80歳突破は世界初。
 - 〔8月12日〕乗客・乗員524人の日航ジャンボ機、群馬県御巣鷹山に墜落。大破炎上。生存者4名。
 - 〔8月21日〕第67回全国高校野球選手権大会、PL学園（大阪）が宇部商（山口）を破り、3度目の優勝。
 - 〔9月19日〕メキシコ地震発生、死者・行方不明者8,800人に。
 - 〔9月22日〕G5（先進5カ国蔵相・中央銀行総裁会議）において円高ドル安政策の推進が決定（ブラザ合意）。バブル景気の出発点に。
 - 〔11月2日〕プロ野球日本シリーズ、阪神が西武を下し初優勝。
 - 〔11月13日〕南米コロンビア西部の火山ネバデルルイス山が噴火、死者25,000人の大災害に発展。
 - 昭和61年
 - 〔1月28日〕米国のスペースシャトル・チャレンジャー、打ち上げ直後に爆発。乗組員7人は全員死亡。
 - 〔2月7日〕フィリピン大統領選挙実施。マルコス政権崩壊。アキノ新政権誕生。
 - 〔4月1日〕男女雇用機会均等法施行。



▲誓いの言葉を発表する新成人代表

Flash Back 1985.4.2～1986.4.1

皆さんの誕生した年は、日航ジャンボ機墜落、つくば万博の開催など、事件や話題に事欠かない年でした。また、日米貿易摩擦が深刻化する中で行われたプラザ合意など、その後の私たちの生活を大きく変えていく重要な決定が行われた年でもありました。この年行われた成人式（昭和61年1月15日）で皆さんの先輩方は、今の皆さんと同じように夢や希望を胸に抱き、未来への決意表明を行っています。それから20年後、皆さんが今胸に思い描く夢は何ですか？

- 当時の流行など
- 映画「ネバーエンディング・イン・ラブ」が人気に。リミールの曲もヒット。
 - 映画「ゴーストバスターズ」の歌とともに大ヒット。
 - ロス疑惑の三浦知義が、若者の間で「フルハム三浦」と流行語に。
 - 小林麻美、30代の女性のイメージでブームを起す。
 - まゆ毛の上で切りそろえた前髪と太いまゆ毛の男顔メークが流行。ファッションは花柄模様のシャツやスカートのなど、プリントものが主流に。
 - とんねるずの「雨の西麻布」が大ヒット。
 - TV番組「タケノコ」でレギュラーに。
 - アフリカ飢饉救済の一つとして米国の有名シンガーが無報酬で協力。「We are the world」が世界的大ヒット。
 - 吉幾三が津軽弁で歌った「俺ら東京さ行ぐた」が大ヒット。
 - アニメ「北斗の拳」が小中学生を中心に爆発的人気。「お前はもう死んでいる」というセリフとともに「北斗の拳」も流行。
 - 明石家さんま「最優秀」の異名をもらい女性に大ウケ。口癖「サィテイヤーあな」も流行語に。
 - TV番組「元気が出るTV」浦安フラワート商店街のマスコミ「猫まねき」が突然大人気に。はがき、お弁当など、続々商品化。

～限りない可能性を秘めた531名の若人たちの新たな船出を祝して～

1月8日、平成17年度の成人式が中央公民館で開催され、新成人たちの晴れの門出を祝いました。今年度新たに成人を迎えたのは、昭和60年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた市内の在住者や市外に転出した白石出身者など531名。この日、会場には朝から華やかな晴れ着やスーツなどに身を包んだ新成人たちが続々と集まり、久々に再会した友人たちと楽しく会話するなど、旧交を温めていました。

人口減少社会、価値観の多様化と多難な時局を迎えた中で、「時代の申し子」として誕生した皆さんには大きな期待が寄せられています。531名の新成人の皆さん、それぞれの輝かしい未来に向かって頑張ってください。ご活躍をお祈りします。



▲会場出入り口に設けられた協力金箱。約40,000円が集まりました。



▲会場の中央公民館は新成人で朝から大混雑！



▲「記念品贈呈」新成人たちに記念品としてオリジナル図書カードが送られました。



▲今年も式典後のアトラクションで雄壮な和太鼓演奏を披露した「幻創」の皆さん



▲司会進行を務めた成人式実行委員の安齋紗和子さん（左）と樋渡智子さん（右）



▲「成人式実行委員」として成人式の企画運営にたずさわった新成人の皆さん

新成人へお祝いのことば

白石市長 風間 康静



皆さん、明けましておめでとうございませう。また、成人式を迎えられ、誠にめでとうございませう。ここにいて今年度成人を迎えた531名の方々は、今後大いなる責任があるのだらうと思います。今年、箱根駅伝を見ましたが、あの中で順天堂大学が復路、トップで走っていたのが、失速しながらも最後の最後までたすきをつないだという素晴らしい、また、無名だった亜細亜大学が優勝したということ、これがすごく大切なことなのではない

かと思っています。あなた方は、次の世代にたすきをつなぐなければならぬという責任を担っていることを、肝に銘じていただければありがたいと思います。あなたの方から来る人間はみんな、あなたの方を見ます。どうぞ模範になるような生活をしていただきたいと思います。20歳になった責任というものを思う存分感じながら、今後生活することをお願いしたいと思います。本当におめでとうございました。